

議 題	「(仮称)前原横渚海岸駐車場整備事業」の住民説明会について
日 時	令和5年1月31日 午後6時30分から午後8時5分まで
場 所	鴨川市太尾 866-1 鴨川市総合運動施設文化体育館 2階会議室
出席者	鴨川市役所 長谷川市長 平川副市長 野村建設経済部長 商工観光課 真田課長、矢代課長補佐
参加者	市民または市外住民 93名
配布資料	別添のとおり

説 明 会 内 容	
発 言 者	発 言 内 容
市 (矢代)	<p><開 会>18:30</p> <p>ご案内の時刻となりましたので、只今から(仮称)前原・横渚海岸駐車場整備事業住民説明会を始めさせていただきます。本日の進行を務めさせていただきます商工観光課 矢代 と申します。どうぞ宜しくお願いします。</p> <p>始めに、開会にあたりまして、出席者の紹介をさせていただきます。</p> <p>鴨川市長 長谷川 孝夫 でございます。 副市長 平川 潔 でございます。 建設経済部長 野村 でございます。 商工観光課長 真田 でございます。</p> <p>それでは、お手元の次第に従いまして、説明会を進めさせていただきます。始めに長谷川市長より、挨拶並びに、本事業につきましての概要説明を申し上げます。</p>
市 (市長)	<p><あいさつ></p> <p>皆様、こんばんは。市長の長谷川でございます。今日は、ご多忙の中、第2回目となります、前原横渚海岸駐車場整備事業に係る説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。また日頃より、市政各般にわたり、温かいご理解、ご協力を賜っておりますこと、重ねて感謝申し上げます。</p> <p>冒頭に当たり、先ずは一言お詫び申し上げます。本事業につきましては、昨年12月に第1回目の説明会を開催させていただきましたが、公務が重なり出席が叶いませんでした。その間、色々ご心配をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。</p> <p>今日は、お時間を頂きまして、今回の、前原横渚海岸への駐車場整備計画に至った経緯、そして市の考え方につきまして、改めてご説明をさせていただきたいと存じますので、宜しくお願いしたいと思います。</p> <p>ご案内のとおり、日本の渚100選、これにも選ばれております、この前原横渚海岸につきましては、かつては夏は海水浴客で大いに賑わい、そしてまた、釣り客、あるいはサーフィンを楽しむ観光客が多く訪れ、その後背地にあります本町通り、そして新町通り、芝通りや昭和通りなどは商店が多く存在し、本市の賑わいの中心でございました。</p>

しかしながら現在では、多くの空き店舗・空き地等々が生じておりまして、また、前原横渚海岸につきましても、時代の変化に伴う観光ニーズの多様化等によりまして、海に魅力を感じる方が減少する、いわゆる「海離れ」が生じております。海水浴客が年々減少するなど、地域の賑わいが消失しつつある状況にあるわけでありまして、そのため、本市におきましては、前原横渚海岸周辺、このエリアの活性化を図るべく、平成29年に「前原横渚海岸周辺の魅力づくりに関する計画」を策定いたしまして、この計画に基づく「海辺の魅力づくり推進事業」において、ハード面、ソフト面を併せまして、様々な事業を展開してきたところでございます。

この計画の中では、いわゆる魅力体験広場と、そして旧市民会館跡地をエリア活性化の核となる拠点として位置づけまして、これらを整備・活用することにより、前原横渚海岸、これを中心とした周辺エリアの年間の賑わいの創出を目指してきたところでございます。その取組の一つが、現在、市の誘致により新たに施設整備が行われております、魅力体験広場でございます。本施設は、鴨川フィッシャリーナ後背地で整備が行われておりますが、この土地は、一時的に駐車場等の利用はなされていたものの、造成以来、約20年余りにわたりまして、恒常的な活用がなされてこなかった土地でもございました。

今回は、旧市民会館周辺と併せまして、重要な観光拠点の一つとして位置づけ、前原横渚海岸を中心とした周辺地域の賑わいの創出を図るべく、まずは公園部分を行政において整備し、商業施設部分につきましては公募によりまして、民間事業者にお問い合わせする手法で整備を進めているものでございます。年間をとしまして、多くのお客様、来訪者を見込んでおるところでございます。

また、前原横渚海岸周辺は、元々、常設の駐車場がなく、これまでも夏などの繁忙期を中心に、駐車場が不足しておりまして、鴨川フィッシャリーナの周辺や、海岸沿いの市道臨海線、いわゆる具体的には鴨川令徳高等学校付近から嶋津商店付近までの間におきまして、迷惑駐車等のトラブルが発生しておりました。今後は、「海辺の魅力づくり推進事業」の展開により、新たな人の流れが創出されますので、年間を通して、使用できる常設の駐車場の整備が必要不可欠となってまいります。

これに加えて、夏場の駐車場確保も喫緊の課題でございます。昨年の夏でございますが、ご案内のとおり鴨川フィッシャリーナ夏期臨時駐車場に代わって体育センターに臨時駐車場を開設したところであります。

しかしながら前原横渚海岸から遠くて、海水浴場の駐車場として適していないとのご意見を多くの方々から頂きました。この夏に向けまして駐車場の整備・検討を早急に行う必要が生じてきた、というところでございます。

そのため、市では、既にスタートしておりました、前原横渚海岸南側のエリアの拠点整備事業において、夏期臨時駐車場の問題も併せてまして解決することとして、魅力体験広場周辺への、常設駐車場の整備検討を、昨年の夏以降、進めてきたところでございます。

当該エリアは、活用可能な官有地、いわゆる公の土地が無かったものでございまして、駐車場用地の確保が非常に困難なエリアでございましたことから、前原横渚海岸で一番砂浜が広がっており、通常は波が打ち寄せることのない、魅力体験広場の北側の海岸砂地に着目いたしまして、海岸管理者であります千葉県との協議を行いました。その結果、海岸占用許可を得ることによりまして、海岸への駐車場の整備は可

能との回答を得ましたことから、今回の計画を進めて参りました。

本事業は、海岸砂浜への駐車場整備となりますことから、地域の活性化と、そして何よりも自然環境の保全が適切に両立される計画となるよう、海岸の砂を活用して、現状の土地形状を極力維持する、景観・環境に配慮した工法、且つ軟弱地盤を安定させる耐久性の高い工法を模索した結果、今回のグランドセルを利用した駐車場整備を計画したところでございます。

工法を決定した後は、年度内での完成を目指し、千葉県との協議や、設計内容等についての検討を進め、昨年の12月に行われました市議会定例会第4回の定例会にて、関係予算のご可決をいただいたところでございます。議会審議の中では、グランドセル工法、この内容や安全管理の面、環境への配慮や災害への対応、或いは駐車場管理の面など、様々なご質問をいただいたところでございました。ご質問に対しましては、一つ一つ丁寧に説明をさせていただき、ご理解をいただいたところでございます。

去る12月27日に開催しました、第1回の説明会におきましては、皆さまより様々なご意見を頂戴いたしました。その後も、様々な方々からご意見をいただいております。その内容は、賛成のご意見、反対のご意見、様々でございました。

また、今月の23日には、事業の中止を求める署名を添えた要望書の提出もございまして、こうしたご意見等は真摯に受け止めさせていただいたところでございます。このような中で、今回予定しておりましたグランドセル工法について、不測の事態が発生いたしました。グランドセル工法の砂浜への適用につきましては、メーカーが推奨する標準施工方法ではございませんが、メーカーへ事前に相談を行い、参考データを取り寄せ、また、市においても試験施工を行った上で、メーカーにて実施した砂浜への適用試験の結果と同様、中詰材となる砂の充填、転圧、整地等の定期的なメンテナンスを必要とするものの、海岸砂浜への中長期的に使用する路盤補強工法として適用が可能であると判断致しまして、本事業への採用を決定したものでございました。

しかしながら、駐車場整備に係る議論の経緯の中で、メーカーからは「砂浜への施工は、性能が完全に保証されたものでは無いことから、グランドセル工法の採用を見送るよう申し入れを行う」、また、「本事業を取り巻く現在の状況下においては、製品を納入することはできない」との意向が示され、当初予定をしておりました工法を採用することは実質不可能となりまして、事業計画を再検討する必要があると判断を致したところでございます。結果としてこのような状況に至りましたことは、大変申し訳なく、深くお詫びを申し上げる次第でございます。

前原横渚海岸南側エリアへの常設の駐車場、この整備は必要不可欠なものである、この認識はいささかも変わるものではなくして、その整備に向け、代替手段も含めまして、早急に検討を行って参ります。

その一方、喫緊の課題と致しまして、この夏前原横渚海岸海水浴場の駐車場確保の問題もでございます。夏期臨時駐車場の確保につきましては、体育センターの他、この体育センターは昨年も駐車場にさせていただいたところでございます。この他に、海岸周辺の土地の活用も含めまして、検討して参りたいと考えております。

なお、先程も申し上げましたが、前原横渚海岸南・北のエリア拠点の周辺には、常設の駐車場は必要なものと考えておりますので、今一度、整備に係る手法等について

検討を行い、その結果を改めて、皆様方にお示ししたいと考えておりますので、この点よろしくお願ひしたいと思ひます。

皆様、そして色々な立場でのご意見があるものと存じておりますが、ここは一つ、私自身の気持ちとして申し上げさせていただきますが、鴨川市をもっともっと良くしたい、素晴らしい街にしたい、賑わいのある街にしたい、こういう想ひは、これは皆様方全員が一致している想ひだと、勝手ながら、私はそのように思っているところでございます。そうした意味から、本日は忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。私からの経過等の説明を含めました、挨拶に代えさせていただきますと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

<質 疑>

市
(矢代)

ありがとうございました。続きまして、早速ですが、質疑の方に移らせていただきます。

なお、大変恐縮ですが、ご質問の前に、お住まい、お名前を頂戴したいと存じますので、ご了承いただきますよう、お願ひいたします。それではご質問のある方は、挙手をお願ひいたします。

質問者 1

鴨川市前原、質問者 1 でございます。

今のご説明は、前回私も質問させていただいていると思うのですが、まだ答えがいただけていないので、そもそも開発をする計画が過去より進んでいたのはよく存じ上げております。先日も資料を一部いただきました。その際に、既に駐車場が必要だということがわかっていたにも関わらず、現在の計画では、駐車場がない訳ですよね。あの広場があるのに、その中に駐車場を町として作ることは考えられなかった。その理由はなんですか。

市
(副市長)

はい、それでは私の方からお答えさせていただきます。

この海辺の魅力づくり事業につきましては、先程市長の方からお話をさせていただきましたとおり、旧市民会館の周辺と、それからこの魅力体験広場、両方を拠点にして、その間の賑わいを創出していこうというようなことで進めて参りました。このうち魅力体験広場、こちらの方の整備あるいは活用につきましては、一部は市有地ではない土地があったわけですが、その全体の活用ということ想定していた部分がございます。こうした中で、この整備を進めていく中で、この一部の土地について、所有者の方のほうからですね、活用のご意向があるということで、全体としての活用というのは難しくなってしまったという経緯がございます。そうした部分で、前回のですね、やはり見込みが甘かったのではないかというようなお話も頂戴いたしました。そういうご指摘をいただければですね、それはそのとおりの部分もでございます。そうした中でも、あのエリアにはやはり常設の駐車場が必要だということで、新たな部分で、駐車場の整備ができないかということで今回、その検討をさせていただいたという経緯がございます。なので当初から、駐車場がない中で、事業を進めるということではなくて、少しそこのところで、我々の見込の甘さがあったという部分は、率直に認めさせていただきます。お答えとしては以上となります。

<p>質問者 1</p>	<p>その答えは先立ってもいただきまして12月に、それで納得できないんでね、質問を続けさせてもらっているつもりなんですけども、ということは駐車場よりも公園の方が優先で、あるいは民間企業に、あの大きさを貸し出す方が優先で、ということですか。あの、私は駐車場が優先だったら、駐車場を先に区画として取っておくのが先決じゃないかと、ましてあの土地は、元々は仮設とはいうものの駐車場として使っていた土地でもありますよね。ですからそれがどこかで、駐車場の考えが欠落している訳ですよね。さもなくば、これは私の想像なので、本当のことはどなたか知っていれば教えてもらいたいですけども、その市の所有地でない所を、勝手に駐車場にしようと考えていた、その交渉がいつからちゃんといわれていたのか、あるいは行われていなかったのか、そこに問題があるんじゃないですか。</p>
<p>市 (副市長)</p>	<p>はい、この魅力体験広場につきましては、現在市の方で公園部分を作り、残りの部分については、民間事業者の方を公募という形でやらさせていただいております。この公園部分につきましては、公募の条件の中で50台以上の駐車場ということで、その施設の中には、実際に来ていただくお客様の駐車場というものについては、整備をいたしていく形になっております。ただあの前原海岸、年間を通じて活用を図っていく時には、やはりそれだけでは足りないということがございました。</p> <p>先程、土地の部分、民有地を含めてということはあったのですが、当初の計画の中では、それを一体ということですね、そのエリア全体を活用していこうという構想があったことは事実でございます。その中で、実際に活用する段階ですね、中々その部分がうまくいかなかったわけございまして、その部分の交渉といいますか、お願いにつきましては、させていただいた経緯はあるんですけども、現状としては、活用が出来ていない現状でございます。そうした中で、やはりあのエリアにも駐車場は必要ということで、正直他の土地も当たらせていただきました。ただ、やはり纏まった駐車場用地の確保というのは難しい状況の中で、今回この海岸駐車場ということを計画させていただいた状況でございます。以上でございます。</p>
<p>市(矢代)</p>	<p>よろしいでしょうか。</p>
<p>質問者 1</p>	<p>よくないんだけど…。</p>
<p>市(矢代)</p>	<p>他にご質問ある方…どうぞ。</p>
<p>質問者 2</p>	<p>はい、前原に住んでいる 質問者 2 と申します。今回砂浜に駐車場を建設することで、この砂浜はたしかにいま砂がついて広がってはいますが、他の前原の砂浜と比べて、GLですね、地面が他より高いという訳ではないです。台風が来ると年に2～3回堤防近くまで、潮にさらわれるような事態が起きています。そういうことをリサーチした上で、今回踏み切ったというお話をされていますが、どの機関がどこへリサーチしたのか、そこがちょっと聞いてみたいです。</p>
<p>市(矢代)</p>	<p>では、商工観光課長。</p>

<p>市 (真田)</p>	<p>はい、ご質問の方ありがとうございます。商工観光課、真田と申します。今ですね、仰られたとおり確かに、前原横渚海岸の一番砂地が広い所でございますけれども、そこでも台風の15号が数年前にあった時にですね、確かにあそこまで波が来ている現状はございました。それは確かに私たちの方も、波が打ち寄せている状況は確認しておるところでございます。そこであの駐車場をですね、検討する時に、どうしても魅力体験広場の南側の方へ駐車場用地という所が無かったものでですね、自然環境と何かあったときに、修復が可能な工法はないかということで、12月27日の会議でもお話をいただいた、グラウンドセルの工法であれば、万が一、波が来たとしても、その後に修復して駐車場とすることは、簡単とは言いませんけれども、復旧できる可能性が高いものかと思ひまして、あそこへグラウンドセルによる駐車場を設置したらいかがなものか考えたところでございます。台風の関係のことにつきまして、全く知識と、実際の現状を把握していなかった状況にあるんですけども、自然環境を配慮させていただくということで、工法を選んで進めていければと考えたところでございます。以上でございます。</p>
<p>質問者 2</p>	<p>今のお話では、どなたが、どのあたりで、きちんとリサーチしたのかというのは入っていませんし、その台風で、あそこが潮であらわれるとういうのを、承知しておきながら、今回の工事に3,000万円以上の費用を使ってですね施工する、ましてやメーカー側から辞退を受ける、というようなことが起きていると思うのですけれども、それに対してはどのようにお考えなんでしょうか。</p>
<p>市 (真田)</p>	<p>すみません。あの実はですね、グラウンドセルのメーカー様の方から、今年になりまして色々と検討協議を重ねた結果、グラウンドセルの方が、先程市長も冒頭にもお話をいただいた、納入ができない、厳しいということになりましたので、一度ですね、あそこへの駐車場、砂浜へ作ることは、一度ですね、再度検討ということで一回、なくすという形で、再度、中止にさせていただいて、今後のことについては改めて魅力体験広場の南側の方にも駐車場が必要ということもあるので、再度、まずは夏の夏期臨時駐車場の確保に向けて考えているところでございます。そのような形でグラウンドセル工法が使用できなくなったことから、現在は砂浜へ駐車場を作ることは不可能となった現状ですので、今後につきましては改めて、ゼロベースで考えさせていただきたいと思ひます。以上でございます。</p>
<p>質問者 3</p>	<p>海岸のすぐそばに住んでいるんですけども、先程から台風の時に、駐車場全部あそこ、すごいことになるんですね。あの砂浜(駐車場)にしようとなさっているところも。それなのにこれから何度来るかわからない台風だったり、色んなものに対し、市はそれだけの予算をかけなければ、あそこで、駐車場を作らなければいけない理由が、よく私の方に分からないのですけれども、どうでしょうか皆様。</p> <p>それから今グラウンドセルはだめだと仰いましたが、市の方では、まだこの計画を諦めていらっしゃるということでしょうか。私どもは絶対にこの海岸にもものを作っていたきたくはないと思っております。</p>
<p>市(矢代)</p>	<p>副市長、お願いいたします。</p>

市 (副市長)	はい、あの今回のですね、砂浜への駐車場整備については、我々もその環境への配慮ということを考えて、この工法であればということで、このグランドセルをご提案させていただきました。そうした中で、それが今使えないという状況になっておりますので、現状では砂浜ということは困難…
質問者 3	新しい方法ができたらするといことですか。
市 (副市長)	いえ、ただ今回の駐車場整備につきましては様々なご意見をいただいております。我々は砂浜に作るということに拘っている訳ではなくて、駐車場を確保することが必要だというふうに思っております。そうした中で、改めて、どのような方法があるのか、その場所も含めて、検討させていただきたいと、その上で、また状況を皆様にお知らせをさせていただきたいと、このように思っております。以上でございます。
市(矢代)	よろしいですか。はい。
質問者 4	<p>前原に住む 質問者 4 と申します、よろしく申し上げます。</p> <p>まずですね、私はグランドセル工法でしたっけ。そのお話をされておりますけど、今回私共の意見を本当に真摯に受け止めていただいて、そして私あの、ゼロベースで考え直すと、決定してくれたと思っております。</p> <p>ですから、まず市長さん、副市長さん、それからおそらく市議会議員の皆さん、それから市の職員の皆さん、本当にありがとうございました。私はね、これ本当にゼロベースになったこと、本当に嬉しいです。皆さんのお話を聞いていると、誰も反対しないと思うんですよ、鴨川をよくしたいというのは、市長さんも先程ね、最初お話ししましたが、皆が思っているのだと思うんですね。それは皆さんはお仕事としてね、やられてて、本当、日々ね、毎日ひとつの鴨川のね、課題を解決しようと、すごい頑張ってるんじゃないかと思えますよ。ですから皆様の仕事っていうのは本来、ここにいる全員がね、ありがとうございましたと、お礼を言う様な仕事のはずなんですよ。で、今回も話を聞いていると別にね、何か悪いことしようと思ってるのか、そういうことを別に思っていないですよ。あの本当に鴨川を良くしようと思ったんでしょう。</p> <p>ただ残念なのがね、その方法が間違うと、やっぱりこういうことが起こるのでね、私がお願いしたいのは、せっかく皆さんね、本当に頑張ってるんじゃないかと思えますよ、朝早くから夜遅くまで。鴨川のね、問題点を解決しようと、良くしようと、市民に喜んでもらおうと思っているのにも関わらず、方向が間違っ、何かボタンの掛け違いみたいなことが起こると、本来ありがたいって言ってもらえる仕事がね、何やってんだという話に変わっちゃうんですよ。ましてや、砂浜を駐車場にするなんて怒るわけですよ。市民はなんて言うかという、皆さん課題解決のためにやったのに、あれは誰がやったんだ、この駐車場はこ奴がやったんだと、これこれこういう奴がやったんだと、名前まで言われますよ。そんな風になってほしくないんですよ私は。なのでね皆様が言っている鴨川を活性化したい、もっともっと人を呼びたい、そんなの</p>

わかっているんですけど、そのね先に、鴨川に呼ぶ、その一番の武器の、前も言いましたけど、前原海水浴場を壊すっていうのが、これは本末転倒で、そこがわからないんですよ。前原海水浴場を守って、その魅力をアピールして、それで活用して、お客さん、観光客を呼ぼうっていうのに、そのために前原海水浴場の一部を壊す、それは納得はできない訳ですよ。その所ね、是非ね、質問じゃないんですけど、次はそういう方向性の違いとか、ボタンの掛け違いとかが起こらないような、そういう形でねやっていただきたいのね、ぜひよろしくをお願いします。

先程も、質問されたのでね、じゃこれって他の工法がでたらやるんですかっていう話を聞いたかったんですけど、やらないって仰ったんで、私本当に意見を聞いてもらえたと思ったんで、次からはね、色んな意見あると思うんですけど、やっぱり住民の意見、特に前原海水浴場だとか自然を守るっていうのは、敏感ですからそこをね、しっかりとコミュニケーションやっていただきたいと思うんですね。極端な例を言いますよ、例えば京都市が金閣寺にね、観光客がいっぱい来るから、もっともっと来るから、駐車場を整備しようと言って、じゃ金閣寺の前の池を埋めましょう、そこを駐車場にしましょうって言ったら、多分、これちょっと違うんですけどね、でも多分住民はちょっとこう、受け入れる訳がないと思うし、そもそもそんな計画をする訳がないんでね京都の人は、だから鴨川もそのくらいの気合というか…持った方がいいと思うんですね。先程からね県に相談したら、いいって言ったからやるって言ったんですけど、それ言わない方が良いでしょう。むしろ県が使わせてくれて言ったら鴨川市としてはだめだと、前原海岸は宝物だからダメだよ、そんな使われ方しちゃって、というくらいの気持ちでねやっていただければ我々も本当にね協力しますんでね、本当にあのいい形で考えていただければと思います。

とにかく私、こんだけのね、皆さんが本当に、別にあの本当に皆さんのこと、こちらにも気に食わなくて、憎くて反対してるんじゃないんですよ。何回も言うように、本当に前原海岸を観光のために税金を使って一部とはいえ壊すって、それは辞めましょうっていう話なんでね、長々になっちゃったんですけど、皆さんもやりがいをもってやられて、やった仕事で、良かったなって市民に言ってもらえるようにね、やりたいと思っていますので、是非我々とね、協力してね、こういことは本当にコミュニケーション良くね、やっていただければと思います。

最後に先程ね、ご質問されましたけど、別の工法が見つかったから、もう一回あそこを検討するよ。これは無しにしてくださいね絶対、これだけは約束してくださいもう一回工法が見つかったから、また同じことを繰り返すのは。ぜひ宜しくをお願いします。

市
(矢代)

どうもありがとうございました。
はいどうぞ。

質問者 5

前原に住んでいる 質問者 5 と申します。宜しく願いいたします。
ちょっと質問なんですけど、魅力体験広場のちょっと概要を少しご説明いただきたい。事業計画を少しご説明いただきたい。どういうお店が入るとかどういことを先ずご説明いただきたいのと、あとその開発に関わっている、公募されているって聞いたんですけど、どういった企業さんが集まってきたのかっていうのを教えていた

だきたい。で、その時にですね、公募する時に、こちら側から、有力な企業を誘致するっていう、そういう考えはなかったのかなっていう所もお聞きしたいと思います。あと、今後なんですけれども、もちろん駐車場の解決などもあると思うんですけれども、前原を、鴨川を、沢山色んな方に来ていただきたいってことで、これから開発に向けて、外からアドバイザーとか、住民側からそういった意見を取り入れて、なんかこうディスカッションとかパネルディスカッションとか、オンラインのそういう会議とか、そういうことをする計画はないのかっていう処をお聞きしたいです。沢山あるんですけれども、すみませんお願いします。

市
(矢代)

ありがとうございます。まずあそこの事業所さん、どういった概要ですか。概要につきましても、事業者さんは鴨川にある■■■■さんというところが、あそこの公募で受かった事業者でありまして、その内容としましては、まずブリュワリーとってビールの、地ビールを作る小さな工場が入ります。そして、それ以外にパン工房、パン屋さん、あと喫茶店が入りまして、あとそれ以外に浜焼屋といてまして、鴨川の魚介類を使った浜焼き、BBQができるようなスペースが出来上がります。

あともう一つが、市内の事業者さんに、そこで商売するようなチャレンジショップのような形で、今のところは何処っていうような、はっきりはされていないのですが、鴨川の生鮮、お花ですとか、野菜とか、そういうお土産なんかを扱うところが、そこにチャレンジショップとして入るような計画となっております。

質問者 5

どちらの企業が公募してきたんですか。

市
(矢代)

実際にプロポーザルをやった際にはですね、今回事業所さんとなっている■■■■■しか応募はありませんでした。

質問者 5

他になかったんですか。

市
(矢代)

他には、やはり条件がですね、あそこに事業をするにあたりまして、まず市の土地を有償で借りていただいて、それ以外に事業者さんが全て自分で建物とか、すべて用意して運営して下さいということになります。さらに、魅力体験広場、今公園の部分があるんですけれども、あちらも含めて、その事業所さんで維持管理を行ってもらうというような条件でしたんで、かなり市にとっては、市に都合の良いような公募条件の中で公募したところで、やはり1社しか出てこなかったということが現状です。

質問者 5

公募はどのような形で行われましたか。

市
(矢代)

応募はプロポーザルですので、実際に告示とかですね、インターネットとかにあげまして、応募期間が一月くらいあるんですけれども、その間に事業者さんの事業計画等を作っていただいて提出した後にですね、実際に市のほうで、市外を含めた選定委員さん、たしか10人くらいだったと思うんですけど、その中で、その事業所さんの提案が合格点である60点以上、一人平均で60点以上獲れているかどうか、そちらを判断しまして、それよりも十分良い点数が獲れていたんで、そちらに決まった

	ということになります。
質問者 5	その時に、一社さんしかきていないという時に、他の企業に声を掛けてみようとか、そういうことはなかったんですか。
市(矢代)	そうですね、基本的には。
質問者 5	でも一社っていうことは、それでいく感じですね。
市(矢代)	いやでもそこは、事業者さんの審査がありますので、当然書類審査と、実際の事業がどうかという審査を、その 10 人の審査員の方が見ていただいて、決める訳ですから、もしその事業がその基準に達しなければ、どこもいなくてまた 2 回目を行うって形になるってことになります。
質問者 5	他の企業さんを誘致しようっていうことにはならなかった。
市(矢代)	そうですね。何個かですね、例えばグランピングの会社さんですとか、そういう方とはサウンディングと言いまして、もしここに、この場所にあなたの会社だったら、出てくるとしたらどういうことであれば出ますかとか、そのような話等は何社かにしたことはあるんですけども、どこもやはりその、市がある程度インフラを整備するとかがない限りは出てこれないという話があったんですね。ただその中で、1 回目ですので、少し条件を厳しくして公募したら、そこの企業がやってくれるということで公募されたということになります。
質問者 5	今後なんですけども、住民の中からとか、例えばなんですけども、近隣で申し訳ないんですけども、勝浦市は、勝浦に移住してきて、事業を起こした方達を交えて、あと市長さん、照川さんとかを交えて、ディスカッションとかしてるんですね。今後の勝浦の魅力をどうやって発信していこうとか、なんかそういう風に住民の人達とか、外からアドバイザーを入れて、どんな風に開発していけば良いのかっていう計画を、そういうイベントじゃないんですけども、やるっていうそういう考えはありでしょうか。
市(矢代)	そうですね、今ですね前原横渚海岸全体の、平成 28 年度に今の計画ができた訳ですけども、そこは大まかな計画を作りました。今は、海辺のグランドデザインということで将来、10 年 20 年先を見据えた計画づくりに着手しておりまして、その中ではやはり、エリアのそういう人達の意見を聞くのは大事ですので、その中で、エリアマネジメントの中で、そういう委員さん、今までは海辺の推進委員さんとかいたんですけども、そういうような委員を公募してですね、そういう話をしていくのは重要だと思っておりますので、参考にさせていただいて、なるべく早くその辺やっていかないと、うちだけでできないので、ぜひそのアイデアをいただいてですね、市の方でも検討していきたいと思えます。

質問者 5	その機会はあるかもしれないってことですね。わかりました。
市(矢代)	はい、その際には一つ宜しくお願いします。
市 (真田)	<p>すみません、商工観光課、真田です。今のご意見に関して、一件追加でお話させていただきます。今の課長補佐の矢代がですね、ご説明させていただいた中で、海辺のグランドデザインというのをやってまして、実はですね、これは今年度中に色々作成するようなことを進めているんですけども、これから今年度中に市民の方々と交えた、海辺はこうなったら良いですよ、こういう考えはいかがですかという、シンポジウムと言うか、意見をいただく場を改めて設ける方向で進めております。この件は、市内に2つの高校がございまして、高校生の中で、各学校で選ばれた方達を対象にですね、将来この街が、海の周辺が、どういう風になったら良いんだろうというような会がですね、9月と10月に行わさせていただきました。それとあの観光関係というか、サーフィンの方達からも意見をいただいたというところで、まだ市民の方々へ資料をご提示してご意見をいただく場を、それこそ今骨子を固めている所で、それが纏まりましたら、今後ですね2月か3月、年度内ですから3月中にはですね、意見を聞くようなシンポジウムをやることで、また近々、HPの方とか、あと広報かもがわで、事前に告知の案内を出すような形、いついつやりますよということをお知らせして、皆様のご意見をいただく場を作ることで進めておりますので、もう少々お時間をいただきたいと思っております。以上でございます。</p>
質問者 5	わかりました。
市(矢代)	では後ろの方。
質問者 6	<p>すみません、今鴨川市宮の方に住んでいる 質問者 6 と申します。はいちょっとあの、この場を借りて、私の意見というか、質問ではないと思うんですけども、ちょっとお伝えしたいなと思ったことがありまして、私小学校の頃から高校生まで、鴨川市の少年少女合唱団というものに入っておりました。そこで2010年に、愛と地球と競売人というミュージカルをやらせていただいたんですね、この内容っていうのは、多分現市長さんもその当時見に来ていただいているかと思うんですけども、小学校5年生の女の子が、地球の環境問題をテーマにした漫画を描いた直後に、亡くなってしまったんです。それが1990年代の話なんですけれども、その当時から地球の問題っていうのは重視されていたんじゃないかってすごく思ったんです。でこの現代、地球の環境問題だって今、テレビであつたりとか、沢山報道されている中で、その砂浜を駐車場にするっていうのは、すごく、言葉悪いかもしれないですけど、不愉快と感じました。これからの子供達の将来であつたりとかを、常に言っている皆様方が子供達の将来の自然を奪うようなことがあっていいのかっていうのはすごく感じています。で、皆様ここに集まられている方っていうのは、鴨川市を良くしたいからこそ、今日こうやって集まっていると思うんですけども、その中でもちょっとやっぱり自然を壊してっていうのはどう考えても理解に苦しみます。で、この合唱団だつたりとか、先程の台風の、自然災害のお話されていた方がいたと思うんですけども、私、</p>

東北の震災、1年後と2年後、ボランティアで行ってます。そこで自然災害の恐ろしさ、身に染みてます。で、海が近い鴨川市がなんでそんなことをするのか、万が一のことを考えたら、とてもじゃないけど決定できないよねっていうことをなんでやるのかなって、すごく思います。で東北に行ったのも、鴨川少年少女合唱団に入っている時に、行かせていただいたんですけども、このミュージカルもそうですし、被災地にいった後もそうですし、コンサートをやって、地震の状況だったりとかを伝えてきたはずなのによって思います。もちろんその当時の市長さんだったりとか、評議委員会の委員長さんだったりとか、来て子供たちが一生懸命伝えていたものを、大人は何も感じなかったのかなって、すごく思ってしまったんですが、先程浜辺のグランドラインですか、その内容詳しくわからないんですが、そういうことも見据えていたのに、なんで砂浜を壊すっていう意見が少しでも出てしまったのか、ていうのはすごく感じるんですけども、なんかこれから、まだ私20代なんですけれども、不安です、これから、そんなことされたら。私は元々鴨川出身で、以前3～4年くらいいすみ市にいたことがあったんですけども、いすみ市御宿町、すごく子供のために色々なことやってます。将来子供達が、いすみ市良いよね、御宿良いよねって帰ってきてもらえるような街づくりをしています。鴨川市はそのように感じられないです。そこを今生きている大人達が将来子供達のために一番考えてほしいです。それから本当に自然を壊したりとかっていうのは、今ゼロスタートで検討しますっていう風に仰っていただいていますけど、絶対にしないでもらいたい、ここにいる皆さん、同じこと考えています。批判的な意見になってしまったと思うんですけども、本当に自然を壊すだ、鴨川の魅力を一つ壊すってことになりますので、本当にそこは真剣に考えてもらいたいです。宜しくお願いします。

市(矢代)

はい。貴重な意見ありがとうございました。では他に。

質問者7

貝渚に住んでおります、質問者7 と申します。あの私は5年余り、鴨川の山と川と海を守る会の代表をしております、田原地区のメガソーラーの建設反対運動を5年余りやっている者です。反対運動をしている間に、そもそもがですね、鴨川の自然環境というか、自然の素晴らしさ、本当にお宝なんですよ、それを壊すっていうことは、どういうことだっていうことから始まっています。それで、5年余りで考えていますのは、やはりこの鴨川のお宝である、自然をどういう風に保全して、どういう風にまた活用していったら、鴨川の街にとって良いのだろうっていうのは、本当にずっと課題として考えて参りました。ですから、あそこの山のことは森林の保全ですけど、やはり山の保全と、それから鴨川の魅力は海ですので、海の海岸の保全っていうのは、皆さんのやっぱり大事な宝をですね、それから今若い方が言われてましたけど、どう私達は、年寄り引継いで、渡していけるのかっていうことを一生懸命考えるっていうことでは、まあ口幅ったいですけども、ここにいらっしゃる皆さん、皆鴨川を悪くしようなんて思ってるわけない訳でして、良くしようと思う点で話し合いが、上手な話し合いの、場に立てているのかなと思っています。それで、ちょっと具体的なところで、お聞きしたいのですけれども、私昨日ですね、140ページに亘って、前原横渚海岸周辺の魅力づくりに関する計画っていうのが、見れますね、市のほうで出していますので、140ページに亘る計画が出されてるんですよ5年前に。それで

あの4つのゾーンに分かれていますね。それで課題の、その取っ付きやすい、取り掛かりやすい、その体験広場ですか、魅力づくりの体験広場の所に、まず手始めにロードマップが書かれているのですけれども、そこから取り掛かっているということなんだと思うんですね。それで1つ、そのこと、ロードマップに沿って進めていると市の方では、されているんだと思うのですけれども、それともう1つ、長年の懸案である駐車場問題ですね、それが場所がないっていうのは明らかな訳ですね、あればもうとっくにできている訳なんで、そこをどうやって解決するのかっていうことでこの一連の話がでてきたんだと思うんです。1つ疑問に思うのは、その4つのエリアの中で、市民会館のゾーンの所で、私はですね、個人的にはあそこに駐車場ができれば良いと思っている。何が困難なのか、この市民会館は、いずれにしてもほっとけないですよ、あれをそのまま、ですから私はどういう方法があったり、ことがあれば、何年後にこういう所に、撤去して駐車場ができるという、それこそロードマップですね、そういうことが考えられているのかどうかということと、もう1つは、こちらの広場の所で漁業組合が持っている土地がありますよね、あそこは借りられないんですか。お話、交渉しているんでしょうか。そこが借りられれば、問題は解決する。もしかしたらそこを10年の間借りていて、それで市民会館のほうの手当てをしてるとか。やっぱり必要なんですよ、駐車場はどうしても。100台分ぐらいの駐車場は、これからのこの4つのゾーンの計画を進める上でも絶対不可欠な訳ですから、そこらへんの処をそういうような考えで進められたらどうかな。それから先程言われたようにですね、あの、市民のご意見を聞いているだけではダメなんですよ。あの検討委員会もですね、この計画を立てて解散した検討委員会はですね、青写真が出されて、それにご意見を言うという、諮問機関の様な位置づけでした。それにやっぱりすぐわなかった委員さんも脱退してます。ですから例えば4つのゾーンの所に、公募でも何でも良いと思います、関心がある方はこれだけいるんですから。そういう人達を、最後の実行部隊としてですね、市民のご意見を聞くぐらいのっていうのじゃなくて、市も財政難ですから、そういうことも全部皆さんに公表してですね、考えてもらうという場を、ぜひ作っていただきたい。

それで皆さんで知恵を出し合ったら、それからできないことも、どうしてできないかっていうことも、進められないかっていうことも、市が日々ですね……。説明が今までもすごい足りなかったと思います。そういうことも、そこに関わっている市民の人達がみんな、皆さんに知らせてくれますから。やっぱりそういう在り方っていうのが、これから必要になるんじゃないかと考えております。長くなって申し訳ない、うまく…。以上です。

市
(副市長)

ありがとうございます。私の方からお答えさせていただきます。まずあの1点目、漁業協同組合さんの土地のお話ですが、これはあの先ほど以来出ております、市以外の所有をしている土地ということで、これまでも我々の計画の中で、使わせていただけないかというようなお話をさせていただいた経緯がございます。ただあのやはり、本業の方でお使いをいただいているというのがありまして、中々厳しい現状というのがございました。ただあの今回、こうした事態に至ったということで、改めて漁業協同組合さんの方にもお話をさせていただきまして、この夏という所でございますけれども、まずその夏期の臨時駐車場についてはご検討いただけるというよなお話を

いただいておりますので、引続きそういった部分についてはお願いをして参りたいと思っております。またあの駐車場は、先程お話をいただいたとおり、どうしても必要な部分がございます。今考えておりますのは、市民会館の周辺に1つございますのと、それからあとは魅力体験広場の傍ということなのですが、エリア全体で考えた時にですね、1つの代替というますか、市民会館の周りに更に駐車場を確保するというようなことも、1つは考えていかなければいけないのかなというふうに思っております。今後の部分につきましては、今市民会館がそのままになっておりますので、そういった所の取り扱いも含めてですね、改めて検討させていただきたいと思っております。エリア全体として駐車場を確保していく、あるいはしっかりと計画どおりに配置をしていくというような、その両面ですね、検討させていただきたいと、このように思っておりますのでよろしくお願いいたします。

市(矢代)

では。

質問者 8

今 質問者 7 さんより話がありました、鴨川市漁協の土地のことでちょっとご説明させていただきたいと思っております。鴨川市漁協の・・・をしている、質問者 8 です。あの前回も、長谷川市長を応援してるっていうふうに、皆さんの前で公言をしましたけれども、今もやっぱりそのまま応援して、市民が主役の鴨川市っていう形で、してもらってるっていう、今回の件については白紙っていう形で、皆さんの意見を聞いて、決定してくれたんだっていうふうに、有難く思っております。今、質問者 7 さんより、鴨川市漁協のあの土地を活用できないかってお話がございまして、あの・・・として、お話させていただきます。鴨川漁協は定置網が漁協経営でやっています。それは鴨川漁協の大きな収入源になっております。それは皆さん分かっていたかと思うんですけども、あの鴨川市漁協の土地と魅力体験広場っていうのが今まで空き地だったのを、市が貸していただきました。それで定置網は、網を海に置いて、魚が入ってくる方法ですので、網はとっても大切です。それであの神奈川まで、その網の修理とか、なんかつかないようなあれで、神奈川まで 20 t トラックで運んでおります。ですので、その網を広げて修繕をしなくちゃ、魚が逃げちゃうっていうんですか、ほつれた場合は逃げちゃう、だからあの土地は鴨川漁協にとって、とても大切です。それで今度、市がこういう事業をやるってことで、市が協力してくれて県の土地を借りてくれましたけど、それでも足りないっていう形で思っております。それで市の方からもお話があった時も、それは無理だということで、初めから言っておりました。ですので、うちのほうの土地は定置網をやる上で本当に手放せない土地なんですけれども、こういう 92 台っていうふうな、その海岸に駐車場をするってことに関してね、私個人では反対だったんですよ。でも市がやって観光業者も賛成するっていうことですから、漁協として反対はできないなって思ってたんですけども、そうゆうようなのが、長くなりましたけども、あの土地はやっぱり、いくら市があれば貸せない、鴨川漁協の事業として、貸せないっていう土地です。それで今回、こういう問題が起きた時に、昨年 37 日間海開き、海水浴が開いたっていうことですから、うちの方も市に協力するっていう意味で、37 日間を、あの土地は有料で、海岸でも有料で 1,000 円程度、7 (月) 8 (月) をやるっていうことですから、うちの方も 7 (月)、8 (月) はとても無理なんです。でも海水浴のためにあの駐車場を作るということで

	<p>したので、その 37 日程度だったら、あの土地をうちの方は、有料で開放できるっていう風に考えております。それで今年の 1 年を様子を見て、また来年度までに市の方が、他の駐車場っていう形を対策していただければなっていう気持ちで、今年のあれは何とか貸すっていうふうに考えております、以上です。長くお話してすいませんでした。</p>
市(矢代)	<p>ありがとうございます。その他に。</p>
質問者 9	<p>前原に住んでおります、質問者 9 と申します。今、浜辺のグランドデザインっていうお話がありましたけれども、駐車場について、今足りないということで動いてらっしゃいますけれども、まず市民会館、旧市民会館、アスベストが使われていて危険な状態ということを知っております。これから南海トラフであったり、いつ起きてもおかしくない南海トラフの地震であったり、災害、これから気候変動も大きく変わってきますので、大きな洪水であったり、台風だったり、来ると思いますし、そうなった時に市民会館、これが崩壊してしまった場合について、粉塵が飛んで、農作物や、田んぼに、その粉がかかるっていう、災害、第二次災害が起きる可能性があると思います。海辺について壊れているベンチ、危険な状態のベンチが今、放置されている状態になっています。海辺のグランドデザイン、これからお客様を沢山呼ぼうとしている、発展させようと思っている所の、地域のそういった危険なところの危機管理、そちらをまず第一優先で考えなくてはいけないんじゃないかなって思っています。まず鴨川の市民のかたが、安全に楽しめる、あとこれからの鴨川を考えて、子供達の鴨川のことを考えて、その先、10 年 20 年先のことを仰ってましたけど、まず目の前の危機管理ってところ、鴨川市民が安全に楽しめる空間・地域をまず作っていくところ、観光地ももちろん必要だと思います、お金を落としていってもらわなくてはいけないという所もあると思うんで、あるんですけど、まずは鴨川市民が安全で、きちんとした生活を送れるような環境をまず最優先に考えていくべきじゃないかなって思っています。で、元々駐車場もですね足りなかった、迷惑駐車が多い感じで、交通機関が麻痺してしまったりとか、花火大会もそうでしょう、それなのに魅力体験広場っていうものを、臨時駐車場に作ってしまった、もう作ってしまったので、駐車場としては使えない、さあどうする、それからじゃ遅いですよね。その前に先ず一番は危機管理として対応しておくべきだったんじゃないのか市は、と思っておりますので、そこは反省していただきたいところです。なのでまず、海辺の危機管理を第一優先に考えて、そこをどうしていくのかっていうところをちゃんと市民に説明してってください。どういう風に改善をしていくのか、市民会館・プール放置されています。ベンチも放置されています。そこをどうやって綺麗に、鴨川市民が安全に暮らせるようにしていけるのか、そこも含めて海辺のグランドデザインだっていうことだっと思うんですけども、そこをきちんと解決して欲しいと思っています。何か、もしこれで計画があるということであれば教えていただければと思います。はい。</p>
市 (副市長)	<p>はい。私の方からお答えさせていただきます。まず市民会館、それからプロムナードのベンチ、或いは、あの東屋というのでしょうか、そこも危険な所があることは認</p>

	<p>識いたしております。今あの次年度、予算の編成を致しておりますが、その部分については、最優先で考えさせていただきたいと思っております。ただあの市民会館につきましては、令和4年度、今年度ですね、解体のための設計予算をとらせていただきました。次年度、今財源の調整をしておりますが、できれば次年度、令和5年度には解体をさせていただきたいなというふうに思っております。</p> <p>あとプールの方につきましても、やはりそのままの状況になっておりますので、あちらについても、何らかの形で。まだ設計をしていかなければいけない状況で、少しお時間は掛かると思うのですが、その辺も取り組みをさせていただきたいと思っております。やはりあの景観自体を綺麗にしていくということと、それから必要な設備を整えていくと、その両方を進めて初めてエリア全体のコントロールができてくるのかなというものですので、その辺はしっかりとやらせていただきたいと思いますので宜しくお願いいたします。</p>
質問者 9	<p>では設計の計画はいつくらいっていうか、もうあるんでしょうか。例えば壊れているベンチも、今危険な状態で、とてもじゃないけど、危ない状態ですけど、それはいつ頃直すとかっていう計画は市の方でされていたりするんでしょうか。</p>
市 (副市長)	<p>あの通常と申しますか、次年度の予算で計上する予定でございますので、そうしますと4月以降に発注の手続きをしてという形になると思います。なのであの、そうするとやはり、ひと月ですとか、そういった期間掛かってきますので、その辺は少しまたお時間を見ていただけたらと思います。あとあの市民会館等の大きな建物、これを壊す際には、やはりその工期だけで一年近くかかることもございます。なのでそういったことも含めてですね、取り組んでいきたいという考えでございます。</p>
質問者 9	<p>ここもあのアスベストの物を壊したりする所だと思うので、近隣の方ですとか、きちんと説明をして、どういった形でやるのかっていう所もきちんと説明していかないといけない部分があると思います。あと、さっき漁協からもお話ありましたけれども、駐車場も37日間って話がありましたが、これ毎年毎年は無理ですよっていう話ですし、きちんと駐車場はどこに確保するのか、市民会館や市民プールの跡地にするのか、その辺もきちんと市で考えて検討して、そこもきちんと市民に公開していくような形で進めていただければと思います。</p>
市 (副市長)	<p>あのその部分は、先程申し上げましたとおり、全体的、総合的に考えさせていただきたいと思っておりますので、宜しくお願いします。</p>
質問者 9	<p>宜しくお願いします。</p>
市(矢代)	<p>まだ発言されていない方で。…では。</p>
質問者 10	<p>来秀に住んでいる 質問者 10 と申します。今日2回目の説明会ということで、時間を調整して参加させてもらいました。第1回目の時、実は1日前に開催があるというのを知って、ちょっと仕事ですとか、家のことで調整がつかずに参加できませんで</p>

	<p>した。今回のも、SNSでたまたま知ったっていうところで、すみません、自分が情報収集不足だったのかもしれないですけども、市の方ですとか、いわゆる一般の公のほうで今回の説明会があるっていうのを、見つけ切らなかったんですね。なので第1回にどういう議論があって、どういう質疑応答があったのか、知りたいというのが1つです。どこで見ることができるのか、また駐車場問題、今後どういうふうに進んでいくかわからないですけど、どこでその進んでいった話が見れるのか、また説明会があるのかわからないですけども、どこでこういった情報が知ることができるのか、詳しく聞きたいです。</p>
市 (真田)	<p>はい。商工観光課、真田でございます。 質問者 10 さん、すみません。1 回目の、会議の時にどんな質問があったっていうことは、どういたしましょう。例えば、お知らせした方がよろしいのか。</p>
質問者 10	<p>HPで見ることができるとか、…一番最初に話し合った際に、すみません、どういった話があったのか、全くわからない。</p>
質問者	<p>議事録ってありますか。</p>
市(真田)	<p>会議の概要は纏めたものがございます。</p>
質問者 10	<p>どこで見れます。</p>
市 (真田)	<p>現在まだHPにはアップはしておりませんので、それはアップのほうを、検討というか、考えていきたいと思います。</p>
質問者 11	<p>前回の議事録と、今回の議事録もきちんと上げなくてはダメだと思いますよ。</p>
市(真田)	<p>はい。</p>
質問者 4	<p>ディスクローズがね弱い訳ですよ。なぜかっていうと、僕も感じてたんですけど、先程から出てる話って前回も出てることいっぱいある訳ですよ、市民会館とかプールとか。 その時に、なぜそれができないかっていう説明まで受けてる訳ですよ。もう1つ重要な、新しく作った公園はどうだっていうね、意見があって、そういうのも考えてんだけど、これはこういう理由でできないっていう、そういうのが前回もそうだった。話してるので、それをちゃんとディスクローズして、突き詰めておかないと、やっぱりこう同じ質問で、僕なんか見たいに前回も出てる人間からすると、じゃあそういうのが出た時に、前は国の補助金だとか、公園として借りているからできないとかそういうね、あのエクスキューズをされてた訳ですよ。今回は出てこないとする、その話がね、それどうなんだろう、前はそれでできないって言ってんだけど、今回は違う人が質問したりすると、できるようになっちゃうのかなって、なんかそこらへんが、公開が情報公開がさ、ちゃんとしてくれないと、本当先程の方仰ってたように、</p>

	<p>何がなんだか分からないですよ。だって初めてその、出てきたわけじゃないでしょ、そちらの市民会館とプールの話もね、前回も出てるわけですよ、だからその辺ちゃんと、あのディスクローズして、もっとこう前広に、情報を欲しい人には取りに行けるような、そういう体制に、忙しいと思いますけど、してほしいと思いますよね。そうじゃないと住民説明会が無駄になっちゃいますよ、何回やっても、またゼロから仕切り直し、またゼロからの質問じゃしょうがないんでね。</p>
市 (真田)	<p>貴重なご意見ありがとうございました。1回目の会議の概要と、2回目の会議の概要は、今後準備をさせていただきまして皆様が見れるような形をとっていきたいと思いますので、ご理解いただきたいと思います。</p>
質問者 12	<p>あの、ごめんなさい。HPとかですと、スマホを持っているお年寄りの方とかが見えなくなっちゃうこととかあるんです。だったら市役所の方に、広報かもがわであったりとか、そういうのを纏めて、本にして置いといてくれると、お年寄りとか母親とかにはわかりやすいんです。あ、作ったんだなっていうような、しかも1回目出てないんでわかんないんですけど、1回目は聞いただけなんで、やっぱそういう様な、同じ様な、話し合いつて、先に進まってないじゃないですか。だったら、それを全部纏めて、あるんだったら纏めて、市役所かなんかに置いといてくださいよ。そしたら市民だって取りに行けるじゃないですか。それやってくださいよ。</p>
市 (真田)	<p>それは、貴重なご意見として承らせていただいて、対応の方を考えたいと思います。</p>
質問者 10	<p>最後にいいですか。今後の進捗状況についてとか、そういうの含めて、多分毎回こんな説明会をやるのは大変だと思いますので、何か、今言われたように、情報公開、知ることができる様に、また調整の方お願いしたいと思います。</p>
市 (副市長)	<p>はい、あの中々ですね、確定をしていないものについては、それを公開することによって、色んな混乱を出てくる可能性もありますので、ある程度私どものほうで、お示しができる情報が出ましたらですね、それはこういった形の報告会になるのか、またインターネット・HPで公開にするのか、ちょっと考えさせていただきたいと思います。いずれにしてもですね、新しい方法、それを私どものほうで作りましたならば、それについてはしっかりと、ご報告をさせていただき、またご意見をいただきたいと思います。宜しく申し上げます。</p>
市 (矢代)	<p>ありがとうございました。他に何かございますか。 まだ1回もされてない方。…では。</p>
質問者 13	<p>江見に住んでいる 質問者 13 と申します。 漁協さんのご協力ということもあって、浜辺に駐車場を作らなくなったということは、私としてもとても嬉しい。そういう思いで今日伺ってます。ただ、駐車場が必要だってことは、もう身にしみて感じますで、市の方達は如何に苦勞してるかというこ</p>

	<p>とも、感じております。あそこで1番、あそこに作ることに対して1番大きな問題だったのが、植物の保護というのが1つあったと思います。その植物の保護っていうのを考えた時に、私今までそのことになんかやったことあったかなって思ったら、結局浜のごみ拾いぐらいはやっても、その植物をもっと広げるとか、そういったことに対して何もやってこなかったなと反省しております。これから皆で市とも協力しながら、皆で、あそこせっかくそういう形で残していただけるのならば、あの植物を保護して増やしていくという様なことを、皆でやっていけたら嬉しいんですけども、いかがでしょうか。</p> <p>質問ということではないです。皆さんに呼び掛けたような恰好になりました。</p>
市(矢代)	<p>まだ質問されてない方で、質問したい方はいらっしゃいますか。</p>
質問者 14	<p>横濱、小学校のすぐに住んでおります、質問者 14 と申します。 えっと今の話だと、そのグランドセルを敷く工事はしないっていう話だったんですけど、その浮いた予算はどのように使うんですかね。3,500万ですか。</p>
市(副市長)	<p>はい、あのひとつ今回12月にですね、予算をとった背景というのが、年度内に作りたいということで予算をとりましたので、その分については今回、実行しない形になります。まだ新しい方法等も決まっておきませんので、現段階において当初予算での計上というのはしておりません。なのでそういったものが決まりましたら、改めてご説明させていただいて予算化をしていきたいとこのように考えております。なので今のところ、それについては執行する予定がない状況でございます。</p>
質問者 14	<p>浮いてるってことですか。</p>
市(副市長)	<p>はい、そうです。</p>
質問者 14	<p>ぜひね、あの女子サッカーのオルカが一所懸命やっているんですけど、あそこのグラウンドの屋根がぶっ壊れてる訳ですよ。日除けの屋根がね、そのまんま放置されているんですけども、まあ真夏の試合になるとすごい暑いんですよ、そういう風に充てられるってことできないんでしょうかね。あとクラブハウスが欲しいっていうことなんだけど、そんなに大きな予算はいらんって話は聞いているんですけども、そういう風には充てられないんですかね。オルカは頑張ってますよ、鴨川のために色々発信していますから、そういう方向にももっと予算を向けて欲しいんですけども、あの、実際グラウンドに行って、あの屋根何とかならないのって聞くと、予算がまったくないんだよっていうふうに、現場の人は言ってますから、なんだか変なところから予算引っ張ってきて、使わなくちゃダメみたいな形で、あの体験広場作っちゃったような感じでしょ。作らないと予算が今度こないから、みたいな形で、使わないといけないみたいな形で聞こえるんですよ。</p> <p>あともう1つあの、市に保管してある、キッチンカーじゃなくて、何だっけあれ、2台ばかりあるそうなんですけれど、あれも誰に貸すわけでもないし、使うわけでも</p>

	<p>ないし、ただ放置されてるっていう、ああいう現状もどうなのかなって思うんですけど、もっと有効な使い方があるんじゃないかって思うんですけども、どうですかね。</p>
市 (副市長)	<p>はい、ありがとうございます。陸上競技場の屋根につきましては、我々もあれは1つ課題だというふうに思っております。で今年度…</p>
市 (野村)	<p>すみません、陸上競技場の屋根につきましては、専門家の方に改修ができるかどうか見てもらって、できるということであれば、改修の設計をしていただきたいなということ考えております。まずは、かなり老朽化が激しいので、柱の鉄筋が腐食しているかどうかという調査をしていただいておりますので、それがもつということであれば、改修の方法を検討して、なるべく付けられる様にしたいなと考えております。陸上競技場の関係は以上になります。</p>
市 (矢代)	<p>キッチンカーの関係ですけれども、まず1台はですね、鴨川観光プラットフォームの方で、レンタルする様なメニューになっております。もう1台の方なんですけれども、今後魅力体験広場がフルオープンした時にですね、そちらの方で使う設備として用意してございまして、そちらにはですね、恐らく事業者の公募をかけてですね、そこにやってもらうような人を決めていく形になろうかと思っておりますので、宜しくお願いします。</p>
質問者 14	<p>公募？はっきりと公に大きな形でやってください、こそこそやらないで。皆が知らない内に決まっちゃって、事後報告じゃ困るから。今までやってた、今回初めてですねこれだけ盛り上がったのは、変な話、みんな決まっちゃった後の報告で、受けるだけで、こうなりましたしか言われてないから、その前の段階で皆に話しかけてください。そうするとこんな問題にはならなかったの。</p>
市 (矢代)	<p>はい、すいません。ありがとうございます。 他にまだ質問されていない方で、いらっしゃいますか。</p>
質問者 15	<p>すいません。前原の 質問者 15 と申します。先程から聞いていると、駐車場また別の場所についていう考えがまだ頭の中に残ってるみたいなんですけれども、土地もないものはないんで、なんかあの観光客を呼ぶのにも、車じゃないといけないってことはないと思うんで、電車もありますし、バスもありますし、ちょっとなんかあまりにも考えが固いかなって、色々ツッコミどころが多いんですよ。どっから質問していいのか、分かんなくなっちゃうんですけど、もうちょっとちゃんと仕事して欲しいなって思って、しっかりと仕事をして欲しいんで、はい。駐車場を作るのも、少なからず税金だと思うんですよ。この場に座ってるけど、私お金もらってないですけども、前に座っている方は、お金もらって座ってると思うんですけど、肝に銘じて仕事をしてください。以上です。</p>
市	<p>はい、貴重なご意見ありがとうございます。そうですね、確かに今移動手段という</p>

(矢代)	と、やはり車でなくてもJRとか、そういうのもありますので、車だけを考える必要はないかな、ただ鴨川は絶対数が車で来ている処はあってですね、その辺ちょっと考えておりました。今後しっかり考えていきたいと思います。貴重なご意見でした。他にまだ質問されていない方で、質問したい方は。では後ろの方。
質問者 16	<p>市内鴨川、釜沼地区に住む 質問者 16 と申します。今日まず、こういった場を作っていたことに、作る流れを作っていた質問者 1 さんをはじめとする反対というか、駐車場の反対をまず、これまで手伝った方々にお礼申し上げます。こうした場があることによって、皆さんが、それぞれの意見を述べ、あと市役所の方々の方も、こういった経緯を説明する場を設けられて、どのような形で、こういった前原海岸に駐車場ができることになるっていうようなことが、共有化がされたことに、透明になって、皆が知れたことに、すごく意味があったのかなと思います。しかもこうして、まず一旦白紙に戻したっていうことは大きな成果だったのかなっていうふうに考えています。ありがとうございます。それと共に、私が個人的なことを申し上げると、先程若い方も仰ってましたが、私もこの鴨川で生まれ育って、高校まで生まれ育って、東京に、進学に伴って、行ったんですけども、当時私が子供の頃は、鴨川には何も将来は無いようなことを親に言われ、それはなぜかという、やっぱり経済的なこととか、市のほうの、将来的なビジョンもちょっと見えないという中で、この中にいても、成功するような人生を歩むことは難しいみたいなことを親から言われて、外に出て大学に行き就職してって事を経て、今それで10年前にこちらに戻ってきて、今起業して、今一つ事業を営んでいます。その中ですごく感じたことは、やはりあの子供の頃に自分の生まれた土地のことを、何もないっていうふうに思いながら、高校を卒業して、大学に入って、東京に出た時に、自分の生まれた所に誇りが持てないっていう時代を過ごしたものです。先程仰ったように、自分の生まれた所に誇りが持てるってことはすごくやっぱり、子供たちにとっても大事なことだと思います。やっぱり海ですとか、山ですとか、鴨川の今残されている自然がやはり私たちのアイデンティティであるってことに気づいたことは、東京に出て、様々な色々な経験をした後に、大人になって気づいたことですが、やはりそういったことを今この場で、子供達の、今鴨川にいる子供達や、若い人たちにも、今やはり、アイデンティティとして、感じて誇りを持って生きていって欲しいっていうことに、すごく当時自分が子供だった頃に感じれなかったこと、今コロナ禍で生きている子供達にやっぱり繋いで、未来を残していって欲しいと思います。そういった姿勢を強く望んでいます。私たちのアイデンティティであるこの自然。海、山、自然をぜひ残していただきたい。そういったことを市民が、皆が共通したアイデンティティに誇りを持つ、そういった市に今後も導いていってほしいと心より願っています。お願いいたします。</p>
市(矢代)	ありがとうございます。では次に…先に 質問者 1 さんが挙げてたので。
質問者 1	1つあの、耳の痛い話だと思いますけど、多分ここにいらっしゃる方、気づいている方はいらっしゃらない。実は私、今回この反対運動をやっておりまして、市のHPもチェックさせていただきました。で、前原海岸周辺魅力づくり検討委員会っていうのが過去あったんですけど、その資料は確かにHPに載ってます。ただその次にです

ね、検討委員会の次に、推進委員会っていうのが、同じ名前であるんですね。実はこの資料は、19回会議が行われていたにも関わらず、HPにアップされてませんでした。多分これは私も気づいてなかったんですけど、19回会議がやられてたのに、HPには載ってないんですよ。その前の6回は載っているんです、検討委員会が。推進委員会は載ってない、でもその推進委員会の最後の会議は2年前です。ですから、まあ私は想像してるんですけども、多分推進委員会の次には、実行委員会ってのがあって、その場で砂浜への駐車場が多分決められたのかなと思ってるんですけども、もちろんその資料はあるかどうかはわかりません。

先程ね、耳の痛い話と言いましたけども、我々はやはり市民として、実は正確に言うとは私は市民じゃないですけど、やはり市で行われていることを、もう少し興味を持って、それでやっぱりHPも、別に毎日見なくても良いんですけど、興味のある内容は、やはりチェックして、ちゃんと会議が行われたことで、どういうことが話されているのか、これはやっぱり知るべきだと思います。私もあの、私ここに帰ってきたの5年前なんですけども、5年前まではずっと民間企業でコンプライアンスとかですね、経理財務とか、そちらの方の仕事をしております、今回市の、何て言うんですか、ディスクロージャーについて、そこの処を見ましたら、あまりにも公開すべき資料が載ってない、これ市長はこれご存じだったんですかね。私こういうことを申し上げるのは言い過ぎかもしれないですけども、もしかしたら市としたら、これ懲戒問題にも発展するかもしれないぐらいの、要はデータをね、逆に出てなかったってことは、もしかしたら、むしろ、隠されていた、その可能性はあるんじゃないかと思うんですけども…。

では市への私質問です。市は、鴨川市として、公開しなきゃいけない資料が公開されているか否か、これをチェックする機関というのはあるんですか。もしそれに違反した場合は、どういうペナルティが用意されているのか、これが質問です。

市
(副市長)

はい、私の方からお答えさせていただきます。今ご指摘をいただきました、海辺の魅力づくり推進委員会、こちらの会議につきましては、本来公開をすべきものでございます。この公開をすべきものが、チェックが出来ている機関があるのかという事ですけれども、市の方では公開のルールを作っております、こうした審議会等の会議概要というものは、公開対象となっておりますので、これは本来公開すべきものとなっております。

またこれが公開されずにいた事については、事務処理上このようなことがあってはならないということで、これはあの厳に対処をしていきたいと思っております。

ただあの処分という部分につきましては、これはあの個々、色々なケースがございまして、これは一概には中々申し上げられない処がございまして、まず私どものやる事といたしましては、公開が出来ていなかったということで、これは早速に公開させていただきたいと。これは今HPの方で、改めて公開させていただいた状況にございまして、こちらについてはまたご覧いただきたいと思っております。

またあの先程も、情報公開の部分が鴨川市、少しやばい所があるというご指摘をいただきました。そういったことの無いようにですね、これからしっかりと我々言い方を揃えていきたいというふうに思っておりますので、ぜひ今回のこうしたものを通じて、そうしたところの設置ができていければと思っております。宜しくお願いいた

	<p>します。</p>
市 (矢代)	<p>他に質問されてない方で、いらっしゃいますか。そろそろ予定の時刻、8時となりますけれどもでは最後でよろしいでしょうか。</p>
質問者 2	<p>すみません、時間も長くなってしまったんですけども、もう質問辞めようかと思っ ていたんですが、1つ聞きたいことがありますて、物産館が出店するにあたって、事 業計画書みたいなものが出されてると思うんですけども、あの敷地にこれだけの建 物を作って、年間どのくらいの人に来て、車がどのくらいくるという時に、現在の敷 地の中には、到底車は収容できない状況が発生するじゃないかと思うんです。そこ であそこの駐車場を計画されたんじゃないかと思うんですけども、その辺のその何で しょう、例えばあの駐車場の計画がなかった場合に、その事業計画を精査するよう な事があったんでしょうか。民間だったら、多分かなり厳しい精査というか、審査 といひますか、そういうところが見られると思うんですけども、どうなんでしょう か。</p>
市 (矢代)	<p>今回その事業所さんにおいてですね、あちらに商業施設を出店するにあたりまし ては、あちらの事業者さんとして必要な台数として、駐車場は確保してある内容 になっています。なのでうちがそこに今度駐車場をやったかという、去年の夏にです ね、やはりその海水浴場の駐車場を体育センターにしたところ、かなり利用者の方 もそうですし、ご商売されている方からも、あんな遠い所じゃダメだよと、まあ分 かりづらいこともあったものですから、そこに対してかなりお叱りを受けた中で ですね、事業者さんのはそこで良いんですけども、市としてやはりどこかに駐車 場を確保しなくてはいけないなという処で、計画を今回したものでございます。 事業者的にはその駐車場に間に合うじゃないかっていう、予定には、元々はなっ ていました。今60台くらいの計画があるんですけども、それで事業としては大丈 夫だということをお伺いしております。</p>
質問者 1	<p>事業者って具体的にはどこなんですか。</p>
市(矢代)	<p>あの今入っている、■■■■さんですね。</p>
質問者 1	<p>いやいや、困っているという…、駐車場が無くて。</p>
市 (矢代)	<p>結局、その飲食店なんかも近くにございますので、中央通りですとか、新町通 りとか、そういう所も含めてですね、海だけに来た人だけではなくて、海に 来た人が、そこに停めて、また市内を散策してもらえようイメージでお りました。それで、あそこに計画したような。</p>
質問者 1	<p>中央通りの事業者さんが、駐車場が足らなくて困っているから作ってく れって言うんで、砂浜に作るのですか。</p>
市	<p>それについてはですね、市のほうで判断したところですね。私どものほう で、やは</p>

(矢代)	りそこに市内を散策してもらうためにはですね、あそこに必要だということで、計画したところです。メインはその海水浴の時に迷惑を掛けたっていうのがありましたので、そのようにさせてもらいました。以上です。
質問者 14	逆に考えると、夏場海水浴のお客さんが、■■■■さんの所にとめて海水浴に行った場合に、なんかペナルティがある訳ですか。だから逆に■■■■さんには、夏には海水浴の客が停める可能性がありますよみたいな、話し合いみたいのはないんですか。
市 (矢代)	一応あそこは、魅力体験広場の利用者のための駐車場を確保しなさいということで、市としては公募の時に、指示、条件としておりますので。
質問者 14	じゃあ、■■■■は、それは承知している訳ですね。
市(矢代)	はい。
質問者 14	そうなのね、はいわかりました。
市(矢代)	時間もあれですので…
質問者 1	ちょっと市長にお渡ししたいんですけど。今回反対運動をさせていただいた時に、皆さんから沢山コメントをいただきまして、そのほとんどはネットで公開させていただいてるんですけども、それを全てコピーしたものを、これをぜひ市長にお読みいただいでですね、皆さんがどういう風にお考えなのかをぜひ。
市(市長)	私も見させていただきます。では、私からも一言。
市 (矢代)	では最後となりますけれども、市長の方から本日の総括といたしまして、一言ご挨拶いたします。
市 (市長)	<p>今日はどうも大変遅くまで、貴重な時間をいただきまして、皆様からご意見をいただきましてありがとうございます。感謝申し上げます。基本的には総論になりますが、皆さんの声を大事にしながら、検討をしっかりと参りたいと、このように思っている処でございます。</p> <p>先程来、自然を大切に思う気持ち、皆さんの声、真摯に受け止めさせていただきました。私も生まれてからずっとこの間、鴨川、山の中で過ごしております。都会、鴨川の街、私の小さい頃は本当に鴨川の街に居合わせていて良かったな、羨ましいな、そういう思いがありました。</p> <p>一説によりますと、当時鴨川の街は水不足で大変悩んでおりました。旅館業界、あるいは病院等々を含めまして、そうした中で水を制する者は国を制する、よく言われる処でございますが、その水を確保するために、どういう様な先人達は努力したのか、それを今回、この件に関しまして私自身も思い起こさせていただいた処ござい</p>

ます。いわゆる、将来的なことを含めまして、しっかりとその辺のところは考えていかなければいけないなど、改めて思ったところでございまして、申し上げさせていただきました。

それから喫緊の課題ということで夏場、いわゆる夏期の駐車場、これについては正直な話、色々なご意見と言いましょか、「何とかしろよ」、こういうお叱りのお言葉をいただいております。何とかそれを含めて、そしてまた通年的に駐車場を確保していくことが、行政に課せられた大きな仕事である。このように私自身思っていた処でございます。

しかしながら、色々なご意見の中で、恒常的に、今回私どもの提案したことが、色々な状況の中で難しかった。これについては率直に認め、また、改めて検討していきたい、このように思っています。

しかしながら、夏場については、本当に観光客の皆さん、せっかく鴨川に来たのに停まる所がないよ、駐車場がないよ、もちろん公共の交通機関を使ってもらうのが一番良いんですが、私自身も車に乗っている身です。中々そうは言っても難しいところがございます。従いまして、今回ですね、この夏期海水浴場開設期間中、漁協さんのお力によりまして、内々ではございますが、まだお話は詰めていない処ではございますけれども、内々ではございますが、先程質問者8さんも仰っていただきました。そういうことであるならば、ぜひとも使ったらどうだ、こういう様なご意見をいただきましたものですから、それをしっかりと受け止めさせていただきながら、とりあえず、とりあえずという言い方はおかしいですけれども、その夏期の駐車場につきましましては、対応して参りたい、このように思っている処でございますので、その点につきましましては、改めて、この場をお借りいたしまして、漁協さんに、あるいは漁業関係者の皆さんにお礼を申し上げさせていただきたいと思っております。

それからもう1つ、安全・安心な街づくり、これは私が一番協調する処でございます。市民の尊い命、暮らし、そして貴重な財産、これを守ることが、私どもに課せられた大きな仕事でございます。そういう意味におきまして、先程市民会館の取り壊しの件、あるいは東屋、休み処、休憩所、等々が壊れている。本当に私も、心が痛んでおった処でございます。何とか少し目途が立ったものですから、今回これをやらさせていただきます方向で、今考えているところでございますので、ただ先程も副市長が申し上げました様に、市民会館等々になりますと、大変大きな、億を超えるお金が必要となって参ります。従いましてその辺の処も、十分に勘案させていただきながら、検討して、実施して参りたい、この様に思っております。これが2つ目の課題でございます。私の思う処でございます。

それから3つ目、情報公開の話が沢山いただきました。私も全く皆さんの気持ちと同感でございます。できる限り、その法の中で、公開条例がございまして、決まりがございまして、その中でしっかりと対応していきたい、この様に思っています。基本的には私は、今日も実は、こうした会議につきましても、どんどん公開していくべきだと、基本的な考えはそういう風な気持ちでいる処でございますので、今後とも、その辺の処をしっかりと、私達、行政を扱う身といたしまして、対応して参りたい、この様に思っております。

それから、適切なる予算執行、まさに大事な所ですね。私ども、役所用語でよく優先順位を付けながらとういうことで、参る訳でございますが、とは申しましても今す

ぐやらなくてはいけない事と、それからもう1つは、5年先、10年先、20年先を見据えながら考えていかなければいけないことがある訳でございます。そうしたものをしっかり見据えながら、予算と上手くその辺の処を調整しながら、対応して参りたい、すなわち適切なる予算執行に努めて参る、これが私達に課せられた大きな仕事であると、このように認識しておりますので、そうした面におきましても、今後とも肝に銘じまして、対応して参りたいと、この様に思っております。

それから先程来、将来の駐車場のことについて、色々なご意見いただきました。もちろん皆さんのお声は大事にさせていただくということは、それはそれとして、大変駐車場については、本当に困っている処でございます。喫緊の課題でございます。とりあえず、漁協さんのお力によって何とか乗り切れるかなとは思っていますものの、恒常的には、中々いかななものかな、という風に思っている処でございますので、この辺については、これまでの積み上げてきた財産を大事にしながら、対応、検討、そしてまた皆さんに、先程申し上げました様に情報公開等をさせていただきながら、対応させていただきたいと、この様に思っております。

大変総論的な話になりますが、各論的なことにつきましては、既に担当者申し上げさせていただきましたので、それに沿った形で動いて参りたいと思います。これまでの経過等々を財産としながら、また皆さんが選んでいただいた、議員の方々もいらっしゃいます。そういう方達としっかりと相談させていただきながら、今後その対応を進めて参りたいと、この様に思っている処でございますので、宜しくご理解をいただきたいと思っております。

本当に長い時間、貴重な時間、皆さん方にいただきました。ありがとうございます。心から御礼申し上げます、私からの、今日のお話の最後の締めとさせていただきたいと思っております。本当に今日はありがとうございます。

申し遅れました。大変貴重な財産（ネットコメントのコピー）をいただきました。私もしっかりとネットは見させていただいておりますし、そこにいただいたものは恐らく、私の頭の中にも入ってるだろうとは思いますが、さらにしっかりと読ませていただきたい、この様に思っております。ありがとうございます。

市
(矢代)

それでは以上を持ちまして、本日の説明会を終了とさせていただきます。長時間にわたり、誠にありがとうございます。お気を付けてお帰りください。

<閉 会>20:05